

JRC児童生徒交歓会に参加して

6年松組 大石 莉子

12月25日に、私たちは、「平成27年度知多・海部地区青少年赤十字児童生徒交歓会」に行ってきました。そこでは、JRCの理念や活動について学んだり、いろいろなレクリエーションをしたりしました。

まず、JRCについて話します。JRCでは、ペットボトルキャップの回収を行ったり、あいさつ運動などを通してあいさつをしっかりとできるようにしたりする取り組みを行っています。集めたペットボトルキャップは、80個で1本のワクチンと変えることができるそうです。だから私は、これからも、ペットボトルキャップを捨てるのではなく、集めて、一人でも多くの人を助けようと改めて思いました。

次にレクリエーションについて話します。レクリエーションでは、5種類のレクリエーションを通して新しい友達をつくり、一緒に楽しむことができました。たとえばジェスチャーやロパクで自分の誕生日の星座を知らせ、同じ星座の子同士でグループをつくったり、初めて会った人とつくった3人のグループで10秒間の自己紹介をし合ったり、グループで意見を合わせて他のグループとじゃんけんをしたりしました。これらのレクリエーションを通して、仲間との絆を深めることができました。

私は、これらの活動を通して、JRCとは何かについて理解を深めたり、仲間との絆を深めることができるレクリエーションを学んだりすることができ、とてもよい経験になりました。

今後も、青少年赤十字の一員として、人のために動けるようになりたいです。



JRC児童生徒交歓会に参加して

6年松組 山下 瑠花

私は、12月25日に、「知多・海部地区青少年赤十字児童生徒交歓会」に参加しました。はじめに、赤十字とは何か、何をすればいいのかを学んだ後、仲間づくりのレクリエーションをしました。

まず、赤十字は「気づき・考え・実行する」を態度目標にしていることを教えていただきました。たとえば、運動場にボールが落ちていることに気付いたとき、このままにしておくと誰かにボールをとられてしまうかもしれません。そう考え、ボールを持ち主に渡したとします。これだけでも、「気づき・考え・実行する」ができています。私は、こんな簡単なことでもいいのだと知り、そっせんしてやりたいと思いました。

具体的には、ペットボトルキャップを集めてワクチンにかえたり、地域清掃をして町をきれいにしたりする取り組みがあるそうです。桜小学校では、毎年ペットボトルキャップの回収を行っています。それに、今年度は地域清掃にも取り組みました。今回この話を聞いて、今後も続けていくとよいと思いました。

仲間づくりのレクリエーションでは、自分で仲間をつくって遊ぶので、すごく不安でドキドキしました。しかしレクリエーションが終わるころには、たくさんの人と話したり、活動することができたのでとても良かったです。

今回の交歓会で、私は、赤十字のことを今まで以上に理解することができました。私も青少年赤十字の一員として、人のために動ける人になりたいです。そして、どんどん実行していきたいです。「気づき・考え・実行する」を忘れずに日々の生活を送っていききたいです。

